

うるま市農業振興ビジョン

概要版

地域で育てる

彩り豊かで魅力あるれる

うるま市農業

平成29年3月
うるま市

うるま市 農業振興 ビジョン 策定の主旨

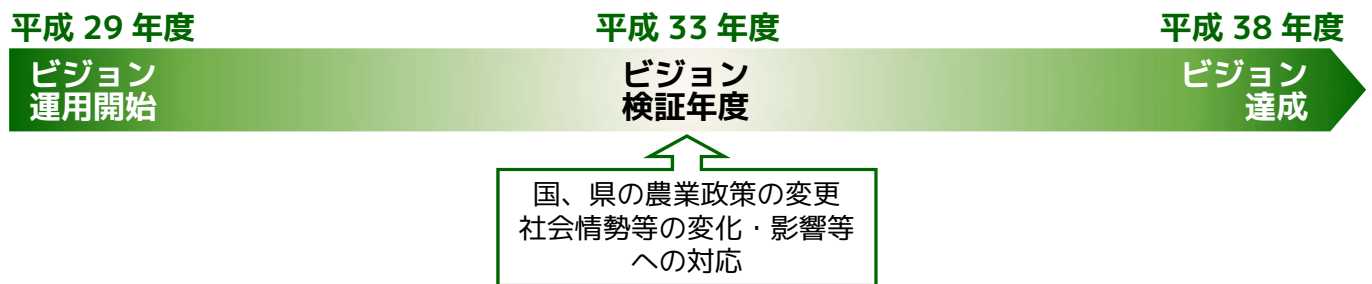
うるま市の農業は、耕種農業と畜産業がともに盛んな特徴があり、9品目が沖縄県の拠点産地に認定されるなど、基幹産業のひとつとなっています。

しかし、全国的にも農業は衰退傾向にあり、それはうるま市においても例外ではありません。就業者数の減少や生産基盤の脆弱性等の問題を抱えており、担い手の確保・育成、経営体への農地集積、経済性が高く安定した営農の実現に向けた仕組みづくりが急務となっています。

本ビジョンは、国の「食料・農業・農村基本計画（平成27年3月閣議決定）」及び、沖縄県の「沖縄21世紀農林水産業振興計画（平成25年3月策定）」を踏まえ、うるま市のまちづくりの総合指針である「第二次うるま市総合計画（平成29年3月策定）」に掲げる将来像「愛してます 住みよいまち うるま」と、その農業分野の基本方針及び施策の実現を目指すものです。

計画年次

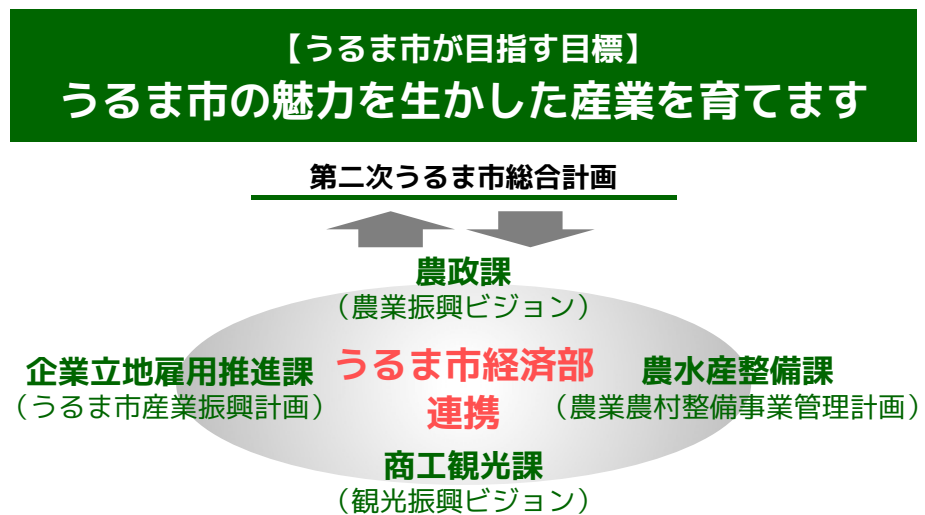
本ビジョンの計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。



うるま市 振興す 業目 産が目

現在のうるま市では、停滞する経済情勢の中で産業振興を通じて「ジリツ（自立、自律）できるまちづくり」のための取り組みを重視して進めています。

本ビジョンでは、「うるま市産業としての農業」と位置付け、農業振興のみならず他産業との連携も視野に入れて策定します。



うるま市農業・農村の目指す方向

うるま市の農業・農村が目指す方向を「基本理念」「基本目標」「基本方向」として、以下の通り設定します。

基本理念

地域で育てる彩り豊かで魅力あふれる うるま市農業 ～農家・市民の豊かさを目指して 個性ある農業への挑戦～

うるま市では、本島や島しょ部で地域ごとに個性豊かで多彩な農業が営まれており、こうした農業を次世代に受け継いでいけるよう、農家が市や関係機関、他産業と連携を図って農業振興を目指すとともに、農家自身が独自性を持って農業所得の向上を目指すことで、農家はもとより市民全体の豊かさを目指して基本理念を設定します。

基本目標

育む農業

人や地域によって育まれ、未来に希望が持てる農業を目指します

彩り豊かな農業

地域の特徴を生かし、彩り豊かな大地の恵み、個性豊かな農業を目指します

魅力ある農業

消費者に魅力のある農産物や農村景観を提供し、農家も魅力を感じられる儲かる農業を目指します

基本方向

農業

強く継続性の高い農業経営体の育成と生産環境づくりを推進

生産基盤

生産性が高く収益に繋がる生産基盤の形成

食料

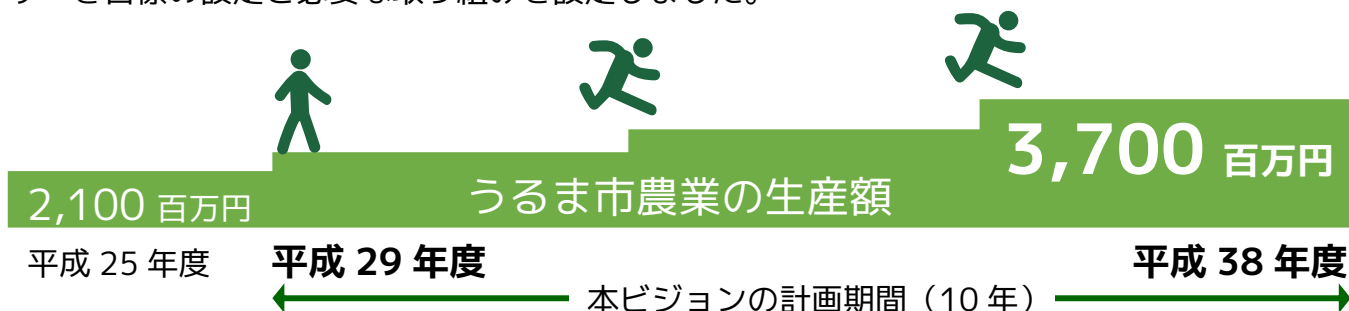
うるま市ブランドの形成と県内外への展開体制の確立

農村・多面的機能

地域資源を活用して豊かで活力ある農村の創出

目標値

本ビジョンの目指す目的を実現に向けた進捗管理と検証を実施するため、関係機関が達成すべき目標の設定と必要な取り組みを設定しました。



施策体系

基本構想

市の目標	基本理念	目標	基本方向	視点
うるま市の魅力を生かした産業を育てます	<p>地域で育てる彩り豊かで魅力あふれる うるま市農業</p> <p>～農家・市民の豊かさを目指して 個性ある農業への挑戦～</p>	<p>育む農業</p> <p>彩り豊かな農業</p> <p>魅力ある農業</p>	<h3>農業</h3> <p>1 強く継続性の高い農業経営体の育成と生産環境づくりを推進</p>	<p>1-1 多様な農業経営体を育成し、強固な生産体制づくりに取り組みます</p> <p>1-2 耕種農業と畜産業の連携を推進します</p> <p>1-3 地域の実情に合わせた効率性の高い生産環境を形成します</p> <p>1-4 効率的な農業経営を実現できる生産環境を形成します</p> <p>1-5 情報共有により市場ニーズに合った生産体制を形成します</p>
			<h3>生産基盤</h3> <p>2 生産性が高く収益に繋がる生産基盤の形成</p>	<p>2-1 耕作放棄地を解消し、農地の流動化を促進します</p> <p>2-2 生産環境に応じた栽培品目や栽培方法により、反収の向上に取り組みます</p> <p>2-3 島しょ部の農業振興を推進します</p>
			<h3>食料</h3> <p>3 うるま市ブランドの形成と県内外への展開体制の確立</p>	<p>3-1 市場ニーズに応え、信頼性の高い農産物の流通を促進します</p> <p>3-2 地産地消の促進、市外・県外への流通を促進して新たな販路を開拓します</p> <p>3-3 産業連携を通じて、うるま市の魅力づくりを推進します</p>
			<h3>農村・多面的機能</h3> <p>4 地域資源を活用して豊かで活力ある農村の創出</p>	<p>4-1 農業・農村の多面的機能を生かした豊かで活力ある農村づくりを推進します</p> <p>4-2 人と自然が調和した快適な生活環境を形成します</p>

基本計画

施策区分	施策案
1 新たな担い手の確保・育成	①担い手の確保・育成 ②認定農業者の育成
2 農業法人設立・参入の支援	①農業経営の法人化の推進
3 耕種農業と畜産業の連携	①耕種農業と畜産業の情報共有・連携体制の確立
4 循環型農業の推進体制の整備・充実	①循環型農業の推進体制の整備
5 地域農業に即した生産基盤の整備・充実	①自然災害に強い農業用施設の整備 ②地域の実情に応じた農業用施設の整備・更新 ③営農相談体制の整備
6 共同選果・共同販売体制の整備・充実	①共同選果・共同販売体制の整備 ②農業機械の共同化の推進
7 情報体制の確立と農家意向を踏まえた生産体制の確立	①技術・営農情報の発信体制の構築
8 効率的な農地の活用と保全	①農地の保全・集積の推進 ②耕作放棄地の再生・利用促進
9 地域の中心となる経営体への農地集積	①担い手への農地利用集積の促進 ②農地の賃貸借情報窓口の設置
10 既存農地の有効活用	①栽培技術や輪作の指導体制の充実 ②新品種導入の推進
11 島しょ部の農業生産環境の整備・充実	①島しょ部の農業用施設の充実 ②島しょ部に適した生産指導の推進 ③島しょ部への定住促進
12 ニーズに応える安全・安心な農産物の生産体制の確立	①マーケティングに基づく安全・安心な農産物の生産・販売戦略の指導 ②拠点施設を生かした出荷体系の確立
13 流通・広報体制の確立	①地産地消の促進 ②うるま市農産物の広報・PR体制の構築
14 産業連携を通じた産地づくりの推進	①うるま市農産物のブランド化 ②生産者と加工業者の情報共有体制の構築
15 6次産業化の推進・農産物供給体制の確立	①拠点施設を核にした6次産業化の推進
16 農業・農村資源の活用	①地域資源を活用した農業と観光の連携による農業体験の推進 ②多様な食を通じた農業と観光の連携の推進
17 農村社会におけるコミュニティの形成	①農家の交流促進
18 生活と調和した生産環境づくり	①農村生活環境の改善 ②環境に配慮した畜産業の推進

地区別の振興方向の展開

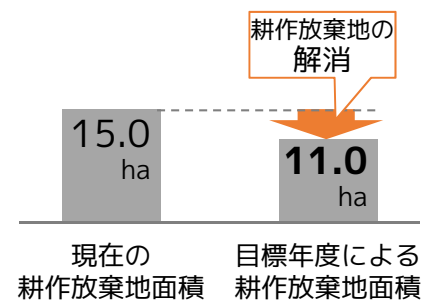


石川地区

多様な農産物を生産する優位性を生かし、
生産体制と生産基盤の充実を目指します

土地利用の方向性

- 多品目の農産物を作付・生産できる柔軟な土地利用を目指します
- 地区内の耕作放棄地の解消と再生を推進します
- 農地中間管理機構の活用や法制度の周知で耕作放棄地の発生防止と農地流動化を促進します
- 耕作放棄地の解消目標を右のとおり設定し、農地の有効活用を推進します



生産体制・基盤の方向性

- 担い手の確保・育成とともに、地区への定着に向けた取り組みを推進します
- 生産規模拡大や農家の高齢化に対応するため、農業機械の導入への支援及び、耕運作業等の農作業受委託事業を推進します
- 補助事業を活用した施設整備を推進します
- ファーマーズマーケットや拠点施設の活用による農産物の生産拡大を推進します
- 生産性の向上につながる生産基盤の整備を推進します
- 品目の多様化及び農産物の品質保持に向けた集出荷貯蔵施設の拡充を推進します
- 末端農地でも農業用水が利用できるかんがい施設の整備を推進します

品目・栽培の方向性

- 農家所得の向上につながる品目への転換及び裏作への指導に取り組みます
- 農産物の品質と農家所得の向上を目指した共同選別・共同販売を支援します
- 地域の文化・歴史が反映されたブランドづくりを推進します
- ヤマイモの生産から消費までのブランド化・特産品として定着化に取り組みます

生産環境の方向性

- 衛生で快適な生産と生活が共生できる環境づくりを推進します
- 農業者と一般市民が集える農村コミュニティづくりを推進します
- 生産と生活が調和した環境づくりに向けて家畜糞尿の適正処理を推進します

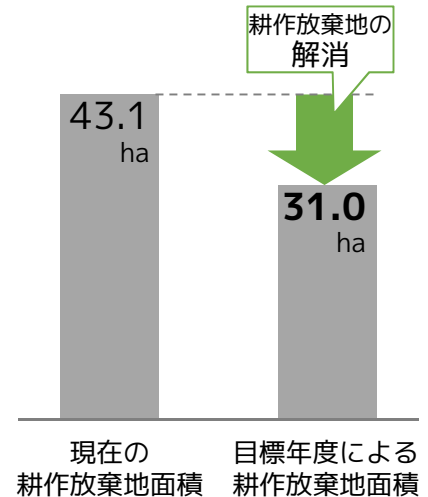
具志川地区

人・情報が集まる地区の強みを生かした都市と共生できる生産環境づくりを目指します



土地利用の方向性

- 耕種農業と畜産業が共存する土地利用を目指します
- 適正な土地利用の推進に向けた耕作放棄地の解消と農地集約化を促進します
- 農地中間管理機構の活用や法制度の周知で耕作放棄地の発生防止と農地流動化を促進します
- 担い手農家への農地集積に向けて関係機関による農地情報の共有と連携を強化します
- 耕作放棄地の解消目標を右のとおり設定し、農地の有効活用を推進します



生産体制・基盤の方向性

- 担い手の確保・育成とともに、地区への定着に向けた取り組みを推進します
- 生産規模拡大や農家の高齢化に対応するため、農業機械の導入への支援及び、耕運作業等の農作業受委託事業を推進します
- 補助事業を活用した施設整備を推進します
- 都市住民に配慮した畜産業の振興を推進します
- 豊原地区や前原地区、港原地区のかんがい施設の整備と適正な維持管理を推進します
- 品目の多様化及び農産物の品質保持に向けた集出荷貯蔵施設の拡充を推進します
- 農家所得の向上を目指して共同選果・共同販売体制を確立します
- ファーマーズマーケットや拠点施設の活用による農産物の生産拡大を推進します

品目・栽培の方向性

- 拠点産地品目以外の品目栽培の促進に向けた栽培誘導・技術指導を推進します
- 病害虫の防除・根絶に向けた講習会や技術講習会の開催を推進します
- 市場ニーズに応じた花き品目の栽培と栽培講習会の開催を推進します
- 高品質な花きの生産に向けて兼箇段地区の花き農家の集約化を推進します
- グァバ茶の消費の促進に向けて販路の拡大を目指します
- 大規模消費地の市街地（都市地域）で地産地消を推進できる農産物の栽培を支援します

生産環境の方向性

- 農村地域の課題を改善できる集会の開催を推進します
- 都市住民と共生できる新たな畜産業への取り組みを支援します

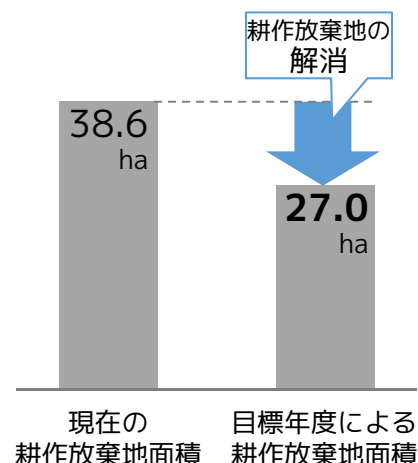
与勝地区

自然、歴史・文化の地域資源を通じた農業と観光の連携と、生産量の増加につながる基盤づくりを目指します



土地利用の方向性

- 与勝地下ダム等の畑地かんがい事業を有効に活用できる土地利用を目指します
- 農地中間管理機構の活用や法制度の周知で耕作放棄地の発生防止と農地流動化を促進します
- 担い手農家への農地集積に向けて関係機関による農地情報の共有と連携を強化します
- 耕作放棄地の解消目標を右のとおり設定し、農地の有効活用を推進します



生産体制・基盤の方向性

- 担い手の確保・育成とともに、地区への定着に向けた取り組みを推進します
- 生産規模拡大や農家の高齢化に対応するため、農業機械の導入への支援及び、耕運作業等の農作業受委託事業を推進します
- 補助事業を活用した施設整備を推進します
- 照間地区を中心に排水不良地区の施設の整備及び用水改良の整備、施設の適正な維持管理を推進します
- 与勝地下ダムの利用を促進します
- 伊計島で農業用水の有効活用に向けて島内の貯水池の改修を推進します
- 品目の多様化及び農産物の品質保持に向けた集出荷貯蔵施設の拡充を推進します
- 中城湾港や洲崎地区の関連企業と連携し、農産物情報の発信や農産物を活用した商品開発の拠点とすることを目指します
- 現在の与勝朝市を継続的に推進することで地産地消への取り組みを推進します
- ファーマーズマーケットや拠点施設の活用による農産物の生産拡大を推進します
- 地域農産物を活用した加工品の開発・製造体制を確立します

品目・栽培の方向性

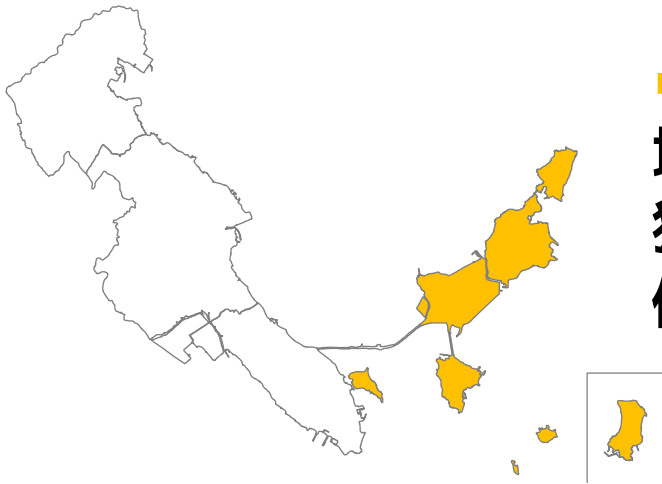
- 効率的な農業経営を実現する集落営農による組織化を推進します
- 年間を通じた所得を確保するため、裏作の指導・導入できる生産体制を確立します
- 地域の実情に合った高収益農産物の導入に向けた生産技術の指導を推進します

生産環境の方向性

- 農業者と一般市民が集える農村コミュニティづくりを推進します
- 農業振興に向けて世代間や品目別の農業者による話し合いの場づくりを推進します

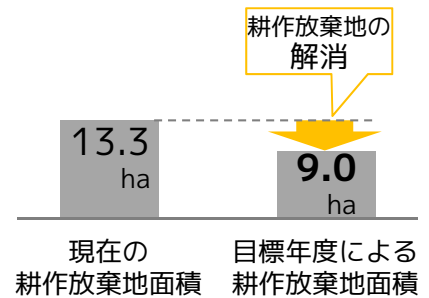
島しょ地区

地区の弱点を強みに変えて、 独自性豊かな農産物の生産 体制づくりを目指します



土地利用の方向性

- 農地集積により、耕種農産物を中心とした集約型土地利用を目指します
- 農地中間管理機構の活用や法制度の周知で耕作放棄地の発生防止と農地流動化を促進します
- 担い手農家への農地集積に向けて関係機関による農地情報の共有と連携を強化します
- 耕作放棄地の解消目標を右のとおり設定し、農地の有効活用を推進します



生産体制・基盤の方向性

- 担い手の確保・育成とともに、地区への定着に向けた取り組みを推進します
- 生産規模拡大や農家の高齢化に対応するため、農業機械の導入への支援及び、耕運作業等の農作業受委託事業を推進します
- 農業用水の利用促進に向けて取り組みます
- 高齢農業者が操作・利用できるかんがい施設の導入を推進します
- 生産コストの低減と高品質農産物の出荷に向けた共同選果・共同販売体制を確立します
- 品目の多様化及び農産物の品質保持に向けた集出荷貯蔵施設の拡充を推進します
- 輸送効率の向上と品質保持に向けて、港湾等への集出荷貯蔵施設の設置を目指します
- ゾウムシ根絶後に向けて津堅島若しくは本島に冷暗所の設置を目指します
- 補助事業を活用した施設整備を推進します
- 伊計島のかんがい施設の利用を促進します
- ファーマーズマーケットや拠点施設の活用による農産物の生産拡大を推進します
- 島からの出荷に向けて輸送費に対する補助の設立を推進します

品目・栽培の方向性

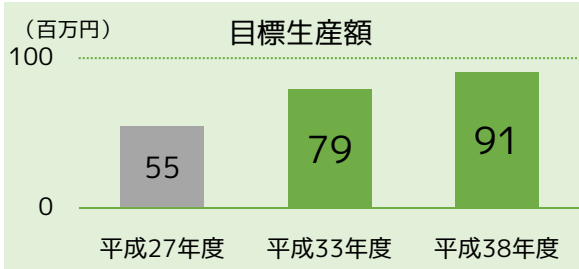
- 年間を通じた所得を確保するため、裏作の指導・導入できる生産体制を確立します
- 農家所得の向上に向けた津堅二ンジンの二期作や裏作を推進します
- 島内農業の生産コストの低減に向けた支援を推進します
- 農産物のブランド化を目指した農業者の意識醸成と生産体制を確立します
- 伊計島の黄金イモのブランド化を推進します

生産環境の方向性

- 農業者と一般市民が集える農村コミュニティづくりを推進します
- 農業振興に向けて世代間や品目別の農業者による話し合いの場づくりを推進します

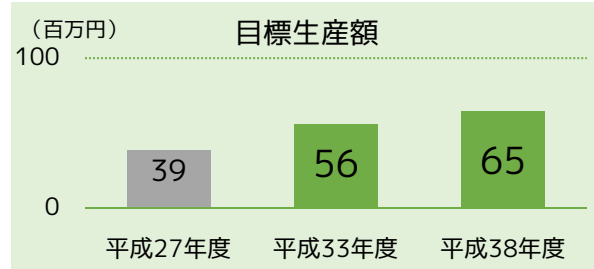
主要品目別の振興方向の展開

- 農業者の高齢化に対応して担い手の確保・育成とともに、機械化の推進によって作業の省力化を図り、生産性及び農家所得の向上を図るとともに、本市のブランド農産物の強化を推進します。
- また、かんがい事業の完了までの間の離農を食い止めるため、既存施設を活用した農業用水の確保・供給を実施するほか、補助事業の活用による農産物輸送への支援や、加工・製造体系の整備など、生産体制の強化を図ります。



ニンジン

- 現状の生産体制を維持しつつ担い手の確保・育成に取り組むとともに、早出しの推進や共選誘導による栽培面積の拡大、気象災害対応型平張施設の整備の推進による生産量の増加を図るほか、栽培技術の向上により反収の増加を図ることで、農家所得の向上を目指します。
- 6次産業化への取り組みによる製造体制の確立を図ります。

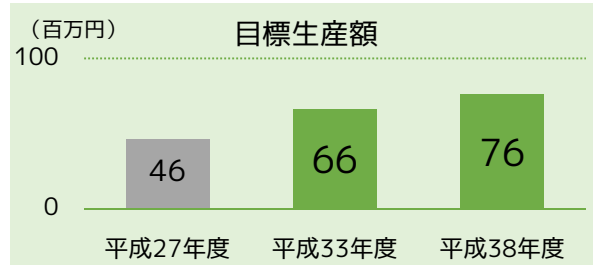


オクラ

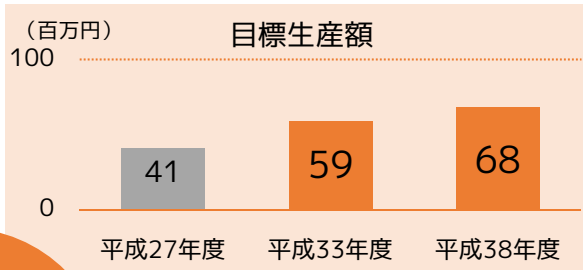
野菜

インゲン

- 現状の生産体制を維持しつつ担い手の確保・育成に取り組み、補助事業の活用により面積拡大、栽培講習会や先進地視察研修会の開催による栽培技術の向上を図り、反収の増加を図ります。
- また、インゲンの後作としてゴーヤー等の輪作体系の確立や気象災害対応型平張施設の整備による生産量の増加により、農家所得の向上を図ります。

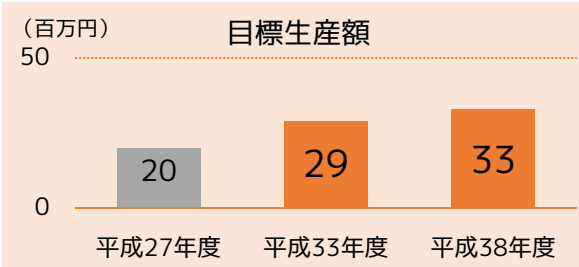


- 市内農業で高い生産性と販売実績のある農産物として、高温や台風等の自然条件や前年の着果過多等への対策として、気象災害対応型施設や強化型パイプハウスの導入により、安定的な生産量と高品質なマンゴーの生産体系を確立します。また、農業者と関係機関による定例会や栽培技術講習会の開催や先進事例地の施策を通じて栽培技術を向上、農家意識の向上を図ります。
- 今後の出荷は、出荷時の作業労力の軽減と、ブランド力を高めて農業所得の向上につながる取り引きを目指した共同選果・共同販売の実現に向けて市内に共同選荷場の整備を推進します。
- マンゴー栽培の担い手を確保・育成に取り組むとともに、所得確保の給付金等の紹介や農業研修を通じて就農を支援するなど、マンゴーを生産できるまでの期間の所得確保に向けた方策の展開を推進します。また、担い手農家や拡大希望の農家に対しては、未利用農地や離農家の農地を中心にあっせんすることにより、農業所得の向上とともに、耕作放棄地の発生防止を目指します。



マンゴー

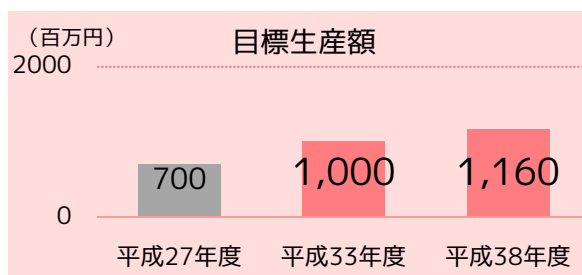
果樹



あま SUN

- 栽培技術の向上により、安定生産とともに高品質なあまSUNの栽培に向けた生産体制の確立を推進します。
- また、農業者の高齢化が著しいことから、高齢農業者が離農する前に園地での栽培技術研修の実施体制を確立するとともに、あまSUNの希少価値の高さを市内外へ情報発信することで、あまSUNの生産に意欲を持った担い手を確保・育成を推進します。

- 繁殖牛では、母牛の優良系統への更新を促進するとともに、定例会や飼育技術講習会の開催を通じて子牛の適正な管理技術の習得を推進します。
- 今後、繁殖経営と合わせて、うるま市の新たなブランドの確立と所得向上による畜産農家の安定経営を目指し、肥育経営の推進に向けた検討を進めていきます。
- 本市の畜産業全体に通じることでありますが、家畜糞尿の処理及び堆肥化に向けた施設の整備と体制の構築、耕種農業と連携した採草地の整備と施設の集約化を推進します。

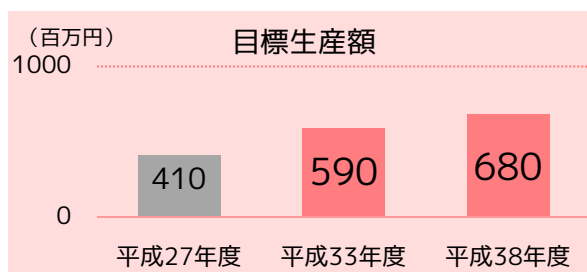


牛

畜産

豚

- PED（豚流行性下痢）等の家畜伝染病への対策を徹底した安全・安心な豚の飼育・生産環境を確立し、取り引きが停止している勝連地区での飼育の再開により市全体での生産体制の構築を推進します。
- 肥育農家を交えた飼育技術講習会の開催により、繁殖農家による肥育への取り組みを推進して高収益の確保とともに、強固な畜産農家の形成を目指します。

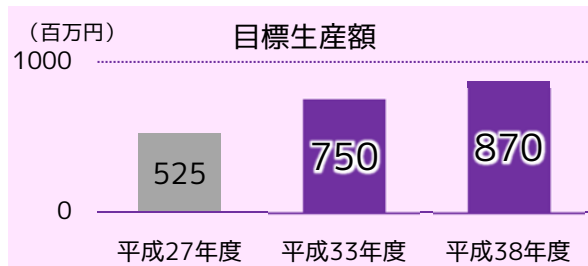


- 農業者の高齢化に対応して強固な生産体制を確立するため、担い手の確保・育成を推進します。
- 台風等による自然災害に対応した気象災害対応型施設への更新を推進して高品質で安定的な生産体制の構築を推進します。また、現在の小ギクの栽培と合わせて輪ギクやスプレーギクの栽培の推進により農家所得の向上を目指します。

- 今後、栽培技術の向上と合わせて現在の白熱電球の製造数の減少への対応として照明のLED化を図ることによって、栽培コストの低減による農家所得の向上を目指します



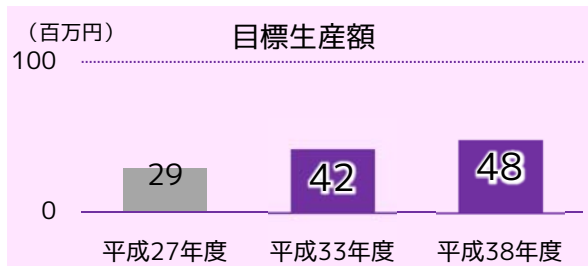
キク



- 農業者の高齢化に対応して強固な生産体制を確立するため、担い手の確保・育成を推進します。
- 栽培方法において、農業者に対して栽培技術講習会等の開催を通じて、肥培管理の改善を推進することで生産量の増加とともに上位等級比率を上げることにより、反収の増加による農家所得の向上を図ります。



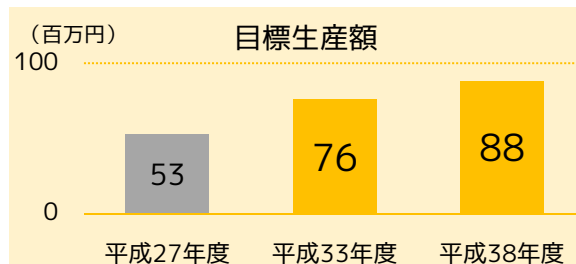
洋ラン



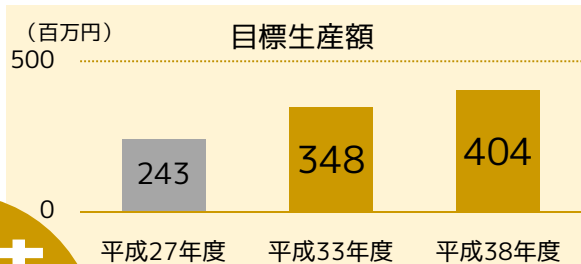
- 農業者の高齢化に対応するため、担い手の確保・育成を推進します。
- 伊計島や宮城島では、今後も甘しょの産地として、生産体制の強化を図り栽培を推進します。
- 津堅島では、ニンジンと合わせて甘しょの栽培も盛んに行われていますが、病害虫の発生で島内へのいもの持ち込みが禁止されている状態にあります。そのため、イモゾウムシ等の病害虫を根絶し、根絶後の食用甘しょの栽培を推進して生産拡大による農業所得の向上に取り組みます。
- また、加工用の甘しょについては、引き続き栽培を支援することで、加工品の開発・製造を推進するとともに、本市の特産品として拠点施設を中心に販売の展開を図ります。



甘しょ



- 多様な担い手の確保・育成に取り組むとともに、担い手を現在の農業者のもとでの農業研修を実施して生産体制の若返りを推進します。
- 農作業の機械化を推進することで、高齢者を中心とした現在の農業者の農作業の省力化とともに作業効率の向上を目指します。
- また、基盤整備の推進により農地の維持・確保に努め、関係機関との連携により耕作放棄地や遊休地の発生防止・解消を通じて産地の維持・拡大を推進します。
- さらに、栽培技術講習会等を通じて地域の実情に適した奨励品種を中心に優良種苗の普及、適期肥培管理の推進、病害虫対策の徹底により生産性及び高品質な農産物の生産を目指します。
- 現在のサトウキビに対する国庫補助を始めとした、サトウキビ農家への支援事業等を有効に活用し、さとうきび農家の所得向上を図るとともに安定経営の実現を目指します。

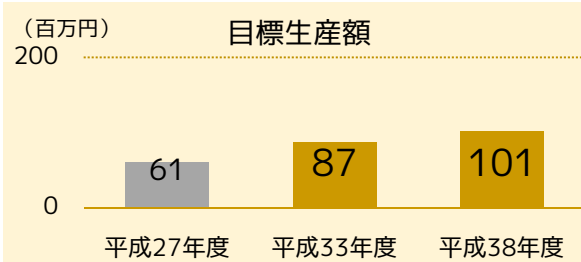


サトウキビ

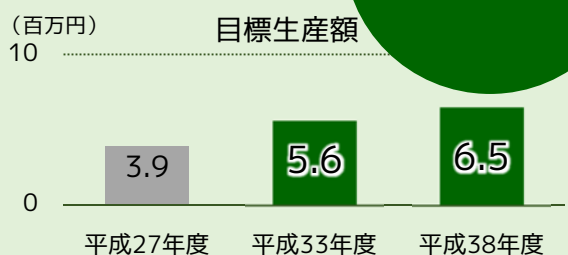
工芸作物

ビーグ (い草)

- 平成27年度には、うるま市い草生産組合が環境保全型農業推進コンクールで農林水産大臣賞を受賞しており、環境と調和した農業が全国的にも評価されていることから、こうした全国での優位性を生かし、担い手の確保・育成を推進します。
- また、これまで一括交付金（沖縄振興特別推進市町村交付金）を活用した機械の導入による機械化・省力化を図っており、高齢農業者でも継続的に営農できる環境づくりを目指します。
- さらに、衣・食・住、様々な商品に加工できるビーグの長所を生かし、うるま市い草生産組合を中心として6次産業化への取り組みを通じて農家所得の向上を目指します。



グアバ



- 多様な担い手の確保・育成に取り組むとともに、担い手を現在の農業者のもとでの農業研修を実施して生産体制の若返りによる産地の維持・拡大を推進します。
- グアバは、健康に良く熱帯地域でしか栽培できないことから、沖縄県以外では希少性の高い農産物です。こうした希少性を活かした販路の開拓を図ります。
- 合わせて、現在の生産・製造体制への支援を通じて、グアバ茶を通じた6次産業化への取り組みを拡充することで農家所得の向上を図ります。

山城茶

- 沖縄県内では唯一残っている在来種の緑茶で、市内でも石川地区のみの生産となっています。ビタミンが豊富で健康に良く、お茶以外にも様々な商品に加工されています。
- 山城茶は、生産量が少なく希少価値が高い反面、担い手不足による生産規模の縮小から衰退傾向にあります。

✓ 今後は、貴重な茶を絶やさないう生産・製造体制の強化に向けて、新たな担い手の確保・育成や製造環境の充実に向けて支援します。

山イモ

- 石川地区を中心に生産されており、毎年12月には一株から取れる山イモの総重量を競い合う全沖縄やまいも勝負が市内で開催されています。
- 山イモの出荷以外に、山イモを使用した商品も加工されており、今後、こうしたイベントや加工品を通じて産地化を図り、担い手の確保や生産量の拡大が期待できます。

✓ 現在、取り組んでいるイベントを通じた地域への定着・ブランド化を図り、担い手の確保・育成による山イモの生産体制と加工品の製造体制の強化に向けて支援します。

その他

- 伊計島や宮城島の島しょ部で生産しており、近年では作付面積の増減はあるものの安定した生産量を維持しています。
- しかし、社会風潮として禁煙傾向にあり今後は需要の減少が見込まれるほか、市内の生産地は台風等の自然災害により農作物被害を受けやすい立地であるため、市及び関係機関による対策・支援が求められます。

葉タバコ

✓ 災害に強い安定した生産環境の形成を推進するとともに、需要の減少に対して高品質な葉タバコの生産に向けて担い手の確保・育成等により体制づくりを支援します。

- JAでは、トルコギキョウなどの洋花について重点地区を設けて生産拡大を図っています。市内では、トルコギキョウ生産重点地区として石川地区が指定されているほか、具志川地区でも積極的な栽培が見込まれています。(平成27年現在)
- 今後は、トルコギキョウの栽培に向けた栽培施設の整備とともに、栽培講習会の開催等を通じて、生産者の増加による出荷率及び農業所得の向上につなげていく必要があります。

トルコギキョウ

✓ トルコギキョウの産地化・ブランド化とともに花き農家の農業所得の向上に向けて、担い手の確保・育成等による栽培体制の構築と取り組む花き農家を支援します。

- 沖縄県では、昔から山羊が家畜として飼養され、食肉や乳用として重宝されてきました。本市でも近年になり与那城地区や与勝地区を中心に食肉用の山羊の飼育が行われており、飼育農家の増頭意欲も高いことから、今後、牛や豚と合わせて本市の主要な家畜に位置付けられていくことが予想されます。
- 一方で、規模拡大に取り組もうとする飼養農家は、優良種の出回りが少ないことから優良種の導入に苦慮しています。

山羊

✓ 山羊の改良増殖に向け、山羊の大型化や品質向上を図る目的に優良種の導入を推進し、飼育農家や飼育頭数の増加を推進します。

✓ 飼育技術講習会の開催や先進事例地の視察等を通じた繁殖農家による肥育への取り組みを推進することで、高収益の確保とともに、強固な畜産農家の形成を目指します。



【お問い合わせ】

うるま市役所 経済部 農政課

〒904-2292 うるま市みどり町一丁目1番1号

TEL. 098-923-7607